



展示会「Next Package 2019 秋の陣」を振り返って

Next Package 2019 実行委員

キッコーマン食品（株）桑垣 傳美

1. Next Package 2019 秋の陣の開催に際して

協会に参加している会員企業・個人にとって、「会員でよかった」と実感できるような事業を行いたいという理事会の考えから、「Next Package」は昨年からはまった展示会であり今回で 2 回目になります。当協会が次世代に向かって日本の食品包装開発をリードしていく展示会であることを会員に強く意識づけるために、「Next Package」というネーミングに決めました。

これまで日本食品包装協会では研修会、勉強会、見学会、セミナーなど多岐に渡る事業を運営していますが、会員同士の情報交換の機会は少なくそのため交流の場を求める声が多々ありました。そこで新規事業企画委員会を立ち上げ自社の包装材料等を紹介したい包材メーカーと包装材料に関する情報収集を希望する食品メーカーを一同に介した協会独自の展示会を開催することにしました。大きな展示会ではできないじっくりと会員同士がコミュニケーションできるような交流型の展示会にすることをめざしました。

2018 年 11 月に第 1 回目の展示会を開催し、出展した企業は容器包装材料メーカーが 14 社、食品メーカーが 4 社参加、来場者は委員も含めて 200 人でした。展示会後参加者からは参加者同士が密に話をするのができ満足できたというご意見を多数いただきました。

第 2 回目となる今回は昨年以上に集客する一方で会員企業および参加者が昨年を超える「満足度をもって帰れるか」が企画委員の目標としました。

2. 展示会の準備

前回以上の高い満足度の展示会にするには、準備に時間が必要でした。そのため 1 回目の展示会直後である 2018 年 12 月から種々準備を始めました。令和最初の展示会です。失敗できません。

まず開催日を決めることから始めました。昨年同様 11 月後半に開催することはほぼ決めていましたが、ジャパンパック（10 月 29～11 月 1 日）、全日本包装技術研究大会（11 月 21・22 日）、エコプロダクツ展（12 月 5～7 日）など容器包装関連の催し物が詰まっていた。これらの間隙を縫って 11 月 28 日に開催することにしました。

次に新規事業委員会では参加企業目標数を設定しました。日本食品包装協会は日本の食品包装に関連する企業が集まった唯一無二の団体であるため、まずは食品メーカー枠を 2 社分増やし 6 社にしました。カゴメ株式会社様、キユーピー株式会社様が新たに参加してくださいました。また包材メーカー枠は前回より 6 社増やして 20 社とすることに



決めました。

前回の展示会の盛況ぶりを知っている企業から、申し込み開始とほぼ同時に多数の参加希望があり、参加企業の中には 3 テーブルを使いたいとお申し出もありました。最終的には 26 社、28 テーブルで開催することになりました。

展示会開催の難しさは来場者数を予測することです。それにより予算が決まり会場の広さを決めることができます。

東京には多くの展示会場がありますが、私たち事務局が考える会場の予算と広さに合致するところはなかなか無いものです。最終的には第 1 回で使用した東京・秋葉原 UDX カンファレンスギャラリーで展示会を開催することに決定しました。

展示会に出展する企業の募集は 7 月中旬から 8 月末まで行いましたが、募集開始早々に定員に達してしまいました。今年は 1 ブース 6 万円に設定していましたが、他の展示会に比べて格安であり、参加判断がしやすかったことが要因であったと考えています。

3. 当日の様子

2019 年 11 月 28 日に、東京・秋葉原 UDX カンファレンス・NEXT 1 ギャラリー（4 階において、「第 2 回 Next Package 2019 秋の陣」を開催しました。主催は一般社団法人日本食品包装協会。一般社団法人日本包装機械工業会に協賛していただきました。容器包装材料メーカーが 20 社、食品メーカーが 6 社（(株) 明治、キューピー（株）、カゴメ（株）、キッコーマン食品（株）、味の素（株）、ハウス食品グループ本社（株））が参加しました。

当日来場者は 300 人以上にのぼり大盛況でした。10 時から石川豊 Next Package 実行委員長が開会を宣言し展示会が始まりました。

私たちの展示会の特徴の一つに講演会があります。展示会の会場で 30 分間の講演会を午前 1 回、午後 2 回の合計 3 回、今回は参加者の興味が高い環境に関する講演をしていただきました。

講演 1 石谷孝佑理事長：『食品包装から考える地球環境問題と技術課題』

講演 2 農林水産省食料産業局課長補佐 菅井剛様：容器包装リサイクルの現状

講演 3 CLOMA 事務局次長 竹下満様：クリーンオーシャンマテリアルアライアンスの活動ご紹介

参加企業各社はポスターや展示品を配置して、担当者が来場者に熱心に自社製品をアピールしていました。資材メーカーからは新規包装材料の紹介、特に環境対応、機能的包材やインクの紹介等がありました。前回に増して各社展示方法に工夫が見られました。

また食品会社 6 社からは最近のパッケージ事例や今後の食品パッケージのめざすところの説明がありました。参加者人数が多くなることにより参加者同士がじっくり話をすることができると心配していましたが、会場が広がったことや各社対応人数が前回より増やしたこともあり、問題はなかったようです。



写真1 展示準備の様子



写真2 展示会の様子



写真3 容器資材メーカーの実演
(キョーラク (株))



写真4 容器資材メーカーの実演
(三井・ダウポリケミカル (株))



写真5 竹下 CLOMA 事務局次長講演の様子



写真6 懇親会



展示会は 17 時で終了しましたが、出展者のみなさんにご協力いただき片づけをした後、ささやかな懇親会を催し、食品企業と包装材料メーカーとの親睦を深めました。帰るときには食品会社からご提供いただいた商品をお土産として配布しました。非常に多くの商品を提供いただいたため、これを袋に分ける作業が、事務局としては大変でした。

4. 参加いただいた企業と展示内容

展示会に出展いただいた企業のアピールポイントを申込みしていただいた順で表記します。環境関連の提案が多かったことが注目されます。

■DIC (株)

D I C の共押出多層フィルム 『 D I F A R E N 』 は、易カット性フィルムや 冷凍食品用フィルムなどの高機能製品を取り揃えております。

■藤森工業 (株)

タップパウチ：最後まで中身の鮮度をキープし、軽くて使いやすいユニバーサル容器です。

■押尾産業 (株)

待望のレトルト殺菌対応や、乳等省令 2 群に適合したスパウトを開発しました。規格袋もラインナップし、小ロットからのご要望にもお応え致します。

■東洋インキ (株)

東洋インキの環境・機能製品のご提案です。

■共同印刷 (株)

ニーズの高いリキッドパッケージ、快適な使い勝手を追及した 食品向けパッケージを提供しています。パッケージデザインから製品まで対応します。

■興人フィルム&ケミカルズ (株)

耐ピンホール性に優れた、パッケージ減容化にも貢献する二軸延伸 P B T フィルムをご紹介します。

■富士フィルム (株)

富士フィルムの水系塗布技術を駆使した「受託製造サービス」のご提案

■(株) フジシール

フジパウチ：環境面（樹脂量使用減、輸送・陳列効率、ごみの廃棄量減）を訴求できる次世代型ボトルライク形状の口栓付きパウチをご提案します。

■三井・ダウポリケミカル (株)

環境対応包材『紙化』の実現に向けて当社が貢献できること」～イーージーピール・スキップパック包装～

■東洋製罐グループホールディングス (株)

『Ready to Package』をテーマに、東洋製罐グループ（東洋製罐、東罐興業、メビウスパッケージングから機能性容器のご提案です。



■大日本印刷（株）

環境配慮型パッケージシリーズ GREEN PACKAGING のご紹介」

■四国化工機（株）

「紙容器からプラスチック容器などの各種パッケージにおいて、今できる環境への取り組みの一端をご紹介します。

■凸版印刷（株）

SDG's の提示以降、CLOMA、プラスチック資源循環戦略、大阪サミットと社会課題としての環境対応が急がれている中、100年を超える包装材料のサプライヤーとして環境に対応した様々な包材をご提供、ご提案します。

■（株）武田産業

脱アルミ遮光シーラントフィルムのご紹介

■日本テトラパック（株）

様々なニーズに応える様々なチルド/アセプティック容器の展開、レトルトできる紙容器アセプティック容器の展開、レトルトできる紙容器、テトラリカルトに関する国内外の最新動向をご紹介します。

■三菱商事パッケージング（株）

パッケージングが生み出す Sustainability と Innovation から、いくつかの商品をご紹介します。

■キョーラク（株）

キョーラクのハクリボトルとフードロス撲滅ボトル！！！！開封後も最後まで美味しく。そして残さず。地球環境に優しい容器を提唱します。

■東洋アルミニウム（株）

長年培ったヨーグルトの付着しづらい技術をブローボトルに展開、撥水撥油機能を付与した画期的な製品で食品ロス削減に貢献致します。

■サエス・ゲッターズ S.p.A

包装材に求められる水蒸気や酸素バリア性能を満たしつつ、環境に優しいモノマテリアル化を実現する水系コーティングフィルムをご紹介します。

■日本エコリール日本エコリール（株）

アセプティック充填が可能な飲料・液状食品向け軽量パウチです。環境負荷軽減とユニークな形状で貴社ブランド目立たせます。

5. おわりに

2020年秋に「第3回 Next Package 2020 秋の陣」を開催します。募集は7月ごろに当協会のホームページやメール等でご案内いたします。当協会では昨年以上に食品企業と包装材料メーカーを結ぶ、活気のある展示会を開催いたします。ふるってご参加ください。